

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：交通安全対策推進費

事業名【新】自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民生活課 交通安全・コミュニティ係 電話番号：058-272-1111(内3016)

E-mail：c11261@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,444 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,444	0	0	0	0	0	0	0	10,444
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

自転車乗用中の交通事故死者の55.8%は主に頭部の損傷が原因で亡くなっており、ヘルメットを正しく着用していないと、着用している場合と比べて、自転車乗用中の交通事故における致死率は約3倍にもなると言われており、ヘルメットの着用は人的被害の重大化防止に有効である。特に、自転車事故の多い小中高生と死亡者数の多い高齢者、移動手段が主に自転車か徒歩である生活困窮者に対する早急な対策が必要である。

(2) 事業内容

小中高生と高齢者、自転車利用が多い生活困窮者に対して、ヘルメットの購入補助を行う市町村に対して補助金を交付する。

(3) 県負担・補助率の考え方

生活困窮者に対しては、「市町村から、個人への補助額」の10/10(上限4,000円)を、その他対象者には、「市町村から、個人への補助額」の1/2(上限1,000円)を市町村に補助(間接補助)する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,444	
合計	10,444	

決定額の考え方

同様の補助制度を既に実施している他県において、制度導入による効果が不明なため、計上を見送ります

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

- 2 健やかで安らかな地域づくり
- (2) 安らかに暮らせる地域
- ③ 犯罪・交通事故防止の推進

【第11次岐阜県交通安全計画】

- 2 交通安全思想の普及徹底
- (3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進
- ウ 自転車の安全利用の推進

(2) 国・他県の状況

愛知県で補助制度有

(3) 後年度の財政負担

ヘルメットの着用状況を見ながら検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

自転車事故の多い小中高校生と自転車死者数の多い高齢者、自転車利用率の高い生活保護受給者の自転車の安全利用を支える対策として県が実施することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金
補助事業者(団体)	市町村 (理由) 小中高生と高齢者、生活困窮者を対象としたヘルメット購入補助を行う市長村の取組みを促進するため。
補助事業の概要	(目的) ヘルメットの着用を促進する。 (内容) 小中高生、高齢者(65歳以上)に対しては市町村が負担するヘルメット購入補助金の1/2(上限1千円/人)、生活困窮者に対しては市町村が負担するヘルメット購入補助額の10/10(上限4千円/人)を交付する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他(例:人件費相当額) (内容) 「小中高生・高齢者」 1/2(上限:1千円/人)、「生活困窮者」 「10/10(上限:4千円/人)」、 (理由) 小中高・高齢者については、先行導入している愛知県を参考とし、生活困窮者に対しては10/10とする。
補助効果	自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金利用時のヘルメット着用を普及促進させる。
終期の設定	終期 令和7年度 (理由) 先行導入している愛知県を参考とし、3カ年で補助を行う。

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
ヘルメット着用率を20%以上とする。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①ヘルメット着用率	15%	15%	16%	18%	20%	75%

補助金交付実績 (単位:千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 3 年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 自転車は、健康志向の高まりや環境への配慮などから身近な交通手段であるが、自転車が当事者となる交通事故割合が増加し、特に頭部損傷により亡くなる方が多いため、今後ヘルメットの着用率を向上させる必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 補助金の交付状況及びヘルメットの着用状況を見ながら検討する。
--

